

令和5年9月25日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会広報広聴常任委員会
委員長 広田 久男

研 修 報 告 書

研修期間	令和 5 年 8月28日（月） ～8月29日（火）【 2日間】
研修（視察）先	8月28日・・・全国町村議員会館 8月29日・・・神奈川県開成町議会
目的（テーマ等）	8月28日・・・令和5年度町村議会広報クリニック 8月29日・・・議会広報広聴活動について
参加議員名 （複数の場合）	（委員長）広田久男、（副委員長）山崎まゆみ、 （委 員）大崎昭一、片松雅弘、中村 等、三林 浩
資料添付の有無	有 ・ ④無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

《研修概要、内容》

8月28日(月) 令和5年度町村議会広報クリニック

1. 研修概要

全国町村議会議長会が主催する「令和5年度 町村議会広報クリニック」に参加し、前半は、前田安正氏（文章コンサルティングファーム未来構想代表取締役）から、「情報としてのことばを伝える」をテーマにした講義を受けました。

後半は参加町の「議会だより」の良い点、改善点など、講師によるクリニックを受けました。

（鳥取県岩美町、同北栄町、同日吉津町、同伯耆町、同日南町、同奥出雲町、広島県海田町、なお本町は広報クリニックを昨年度に受けており、連続は不可につきクリニックは除外されました。）

2. 委員の所感要約

◆今回の講義は「議会広報づくり」の大筋枠の指摘ではなく、相手にどうすれば「伝わる文章」にできるのかの講義でした。

「こういうやり方があるのか」と、新たな文章テクニックを得られました。

◆今回の文章を焦点にした講義は、わかりやすく合点がいく点が多々ありました。助詞の使い方ひとつで、全く異なる内容に受け止められてしまう可能性があることをわかりやすく教えていただき、有益でした。

◆わかりやすいとは、①第三者（読み手）が文章を読んで理解できることが肝要で「伝える文章」ではなく「伝わる文章」にすること。②5W1Hを意識し文章作成すること。③助詞の使い方、とりわけ「は」と「が」の使い方の意味合いを理解すること。

など、「議会だより」の文章づくりに大変参考になりました。

◆「自分にしか書けないことを、誰にでもわかる文章で書く。」ところが実際には「誰にでも書けることを、誰にも分らない文章で書いている。」

「伝わる文章」にするために、自分がわかっていることは皆もわかっているという思い込みで正確に伝わりづらい文例や、誤解されやすい「等」という表現の落とし穴の解説など、勉強になりました。

3. 委員長総括

今回は、大手新聞社で一貫して文章づくりに携わってきた「文章を知り尽くした校閲のプロ」だからこそその講義内容であり、とても有意義な研修でした。

サッと読んでスッと理解できる、わかりやすい「議会だより」にするため、編集会議では時間をかけて原稿直しの徹底議論をやっています。

これは編集作業には必要不可欠なことであり、最高の文章磨きの修行場でもあるのだと、改めて認識しました。

今後も委員全員で切磋琢磨し精進して行きたいと思います。

以上

1. 研修概要

全国に注目されている開成町議会の取り組みについて視察調査を行ってきました。

- ・議員一人1台のタブレットを活用したICT化の促進
- ・住民に開かれた議会改革、広報広聴改革

などについて伺い、合わせ意見交換をしてきました。

2. 委員の所感要約

- ◆開成町議会が強調する「読む議会だより」から「見る(魅せる)議会だより」の言葉に感銘しましたので、本町も実施していきたいと強く心に思いました。

また、他にも見習うことが多くありましたので、実行できるように取り組みたいと思います。

- ◆開成町議会広報活動の「ウェブサイトと広報紙の両輪で」という広報改革について、リアルタイムで情報発信することができる点で有効であること、以前より住民意見が多く届くようになったことの成果は素晴らしいと思います。

- ◆ペーパーレスのみにとどまっている本町議会タブレットに対し、開成町議会は、インターネット環境と動画ソフトなどを議員が活用して、町民への情報発信を図っていることには感心しました。

本町議会のHP、インターネット活用などの取り組みを早期に改善することは、議会改革の重要課題であることを教えられた視察でした。

- ◆開成町議会は行政から独立して議会独自の動画配信やウェブサイトを開設しています。トップページは表情豊かな議員のアップから始まる動画、議員紹介や委員会活動紹介もインパクトある動画で発信し、また、目的のページにもたどり着きやすくしてありました。

議員に貸与されているタブレットを活用して動画を作成したり、議員間で情報やデータのやり取りをしています。

本町議会もタブレットの更新は直ぐにでもするべきだと思います。

3. 委員長総括

学校教育を始め社会全体はICT化が加速しています。

委員皆さんの所感と同様、議会を身近に、そして住民の関心を引きつけようとする取り組み開成町議会は、本町議会を格段に上回っていると痛感しました。

住民のこと、町のことをどのくらい考えているのか、まずは本会議や委員会をライブ配信で伝えることが議会改革の第一歩なのだと、決意を新たにしました。

以上